

生命いのちの言葉 平成二十九年十一月

命には終りあり
能には果てあるべからず

世阿弥ぜあみ

裏面もご覧下さい。

生命いのちの言葉
十一月

世阿弥著「花鏡」の二節。

死は誰にでもくる

避けられない宿命であるが、

役者の能芸には

これで良いという

終点があつてはならない。

世阿弥 (ぜあみ)

貞治二年(一三六三)没年不詳。

室町期の能楽師、能の大成者。足利義満、義持、
義教三代の將軍に仕え、父観阿弥の芸を受け継ぎ、
能の幽玄化、歌舞劇化を進め、現在にまで残る
名作能を多数作り、数々の能楽論を著した。

今月の祝日

【文化の日(三日)】本来は「明治節(明治天皇のご生誕日)」の日。日本がますます文化国家として発展しますように。
【勤労感謝の日(二十三日)】本来は「新嘗祭(五穀豊穡を感謝する祭り)」の日。勤労を尊び、収穫・生産を祝い感謝する日。

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



神社は心のふるさと
未来に受け継ごう
「美しい国うつくぶり」